

固体や気体が水に溶ける現象を溶解<sup>ようかい</sup>といいます。また、ある温度において一定量の水に溶解できるものの最大量は決まっており、ある温度において水100 gに溶けることができるそのものの最大量を溶解度<sup>と</sup>といいます。以下の表は、20℃、40℃および80℃における塩化ナトリウムと砂糖<sup>さとう</sup>の溶解度を表しています。

表

	塩化ナトリウム [g]	砂糖 [g]
20℃	35	200
40℃	36	240
80℃	38	360

(2) ものが最大量まで水に溶解した溶液を飽和水溶液<sup>ほうわ</sup>といいます。80℃における塩化ナトリウムの飽和水溶液の濃度<sup>のうど</sup>は何%ですか。小数第2位を四捨五入して、小数第1位まで答えなさい。

(3) 40℃の砂糖の水溶液200 gの濃度が17%のとき、水の質量は何gですか。整数で答えなさい。

(4) (3)の水溶液には、あと何gの砂糖を溶かすことができますか。小数第1位を四捨五入して、整数で答えなさい。